

市民説明会(吉浜小学校区)質問意見に対する回答一覧表

No.	質問・意見	回答	回答G
1	学校の複合化について内容を具体的に示して欲しい。	高浜市が目指す公共施設の姿として、年少人口がほぼ横ばいに推移することから、学校は今後も維持していくとして、「学校」を地域コミュニティの拠点として、他の施設との複合化を図るとしています。具体的に吉浜小学校区では、吉浜小学校の建替えにあわせ、吉浜幼稚園、吉浜公民館、吉浜北部・南部老人憩の家を複合化を検討します。	行政G
2	方針が不明。まず高小体育館をやるというのは方針ではない。	大方針として、高浜市の次世代に向けた公共施設マネジメントの確立・発信ということで、地域特性を反映した公共施設マネジメントや新たな取組みによる公共施設マネジメントを進めていくとしています。この大方針を実現するために5つの基本方針を設けていますが、市公式ホームページに掲載していますので、参照ください。高浜小学校体育館につきましては、公共施設のあり方のモデルとして位置付けています。	行政G
3	複合化に際して、施設の駐車場の確保は考えられているのでしょうか？高小の施設複合化の内容を見ると、公民館、図書館、体育館と人の集まる施設を集めるものが多い様に思う。駐車場の問題は避けておれない問題ではないでしょうか？	これまでの学校関係者用の駐車場と、複合化にかかる施設利用者の駐車場について、学校敷地を考慮する中で、駐車スペースを確保していきます。	行政G
4	学校の建替えは国から借金する事で賄うべき。(低金利で)	市の財政状況から、ご指摘のとおり、学校の建替えに対しましては、国の補助金を活用するとともに、地方債(借金)などで対応します。	行政G
5	病院の件は唐突に出て来たことによる誤解を市民の方が抱いた気がする。市立病院閉院時に閉院の事由、今後の考え方、方向性を示しておけば、もっと違ったのではないのか。	平成21年度の民間移譲の際は、市内5ヶ所で市民と行政のまちづくり懇談会を開催させていただき、市民の方にお知らせしました。当時の高浜市立病院は医師不足であり、その解消のため民間移譲を行うことや新たな病院のあり方についても説明させていただいております。	保健福祉G
6	市民病院のあり方について、医療のプロ(市内の医院の先生)の意見はどう言われていますか？どう受け止めておられるか？私共、素人では個別的には分からないため。	高浜分院の移転新築そして方向性については、定例の医師会にお伺いし説明させていただきました。今後も医師会総意のご意見、ご要望には市として応えていきたいと考えています。	保健福祉G
7	毎年2億円の赤字があるのに新しくすれば赤字は無くなるのですか？それまでして建てる必要はないのでは？	現在の病院、病床数での赤字改善は現実的でないことから、移転新築を行い、自立した経営を行っていただきます。	保健福祉G
8	病院ビジネス中心の考え方はおかしい。	団塊の世代が75歳以上となる2025年までに、地域包括ケアシステム(医療、介護、予防、生活支援、住まいが一体的に提供される仕組み)の構築が市町村に求められています。その中でも、医療とりわけ入院機能を確保することが、市として取り組む課題であると考えています。	保健福祉G
9	市長・副市長はトヨタ会の理事会の中で市民の声をしっかり届けているのですか？	医療法人豊田会には、設立時から刈谷市長が理事として参加しており、移譲時から高浜市長も理事として参加しています。共に市の立場から市民の声を届けています。	保健福祉G
10	病院から撤退すべき	現在はもちろんのこと、高齢化の進展により、病院、入院機能の果たす役割は大きくなってきます。将来のためにも病院が必要であると考えています。	保健福祉G
11	昨年、分院と公民館に65百万円をかけて施設修理されました。計画では、末年解体予定とのこと。市民感覚ではもったいないと思いますが。市はどの様にお考えですか？	施設の修繕費については、施設を運営するための最小限の費用です。継続して運営するためには、より多額の修繕費が発生することとなります。	保健福祉G
12	説明前の市長のあいさつを聞くと、新病院へ20億以上のお金がかかる場合もありうると捉えませんが、20億以上の出費があるということですか？	上限20億円という枠組みの中で協議を進めてまいります。	保健福祉G
13	高取での説明会后、「病院の外来は足りていない。」と市長が言っていますが、その根拠となる文章は何ですか？	説明会後の内容はこちらでは把握しかねますので、質問の回答は控えさせていただきます。	保健福祉G
14	病床が高浜分院では満床と何度も言いますが、高浜市民の入院者の割合を示してください。	高浜分院は104床のベッドがほぼ満床となっています。このうち高浜市民の割合は、半数程度です。	保健福祉G
15	中央公民館の利用者は他の施設を利用すれば良いということですが、駐車場が足りないのでは？近隣の住民の方などに迷惑がかからないように何か対策を取る予定はあるのですか？(幼稚園の送迎、学校行事等で駐車場が満車になる現状を知って欲しい。)	駐車場については、学校敷地を考慮して、複合化施設利用者の駐車車を考慮して、スペースを確保していきます。幼稚園の送迎については、この駐車スペースを活用していただくとともに、多人数を想定したイベント開催時には、学校のグラウンドを活用する予定です。	行政G
16	中央公民館の解体と備品等の処分には費用はどの位かかるのでしょうか？	現在、さまざまな角度から検討を進めているところです。	文化スポーツG

	17 病人やお年寄りを大切にする前に、子供をもっと大切に考えるべきと思う。中央公民館を無くすのなら、子供たちは悲しみます。そんなことをしたら今後税金を払ってもらおう予定でお考えになっている子ども達は高浜市に残らないと思います。	「ホール機能」については、高浜小学校の体育館を代替施設と考えています。	文化スポーツG
	18 中公を壊すのは、ホールの利用者が少なく、維持費と収入があってないからですか？その様な噂を聞きました。もっと、何が何に利用されていて、どの位の人が使っていて利益はあるのか等も説明できると良いと思います。	中央公民館は、建築後、35年を経過し、大規模改修の時期を迎えており、継続使用するためには、多額の改修費が必要な状況です。また、ホールの利用については、300席以上の利用は年間30回程であります。利用される方には不便をおかけしますが、持続可能な財政運営を第一に考え、機能を高浜小学校体育館へ移転することを考えております。	文化スポーツG
	19 市民センターは残す事	意見として承ります。	文化スポーツG
	20 来年度中央公民館を壊すことは決まっていますか？	中央公民館を取り壊す方針ですが、条例の廃止手続き等の正式決定はなされていません。	文化スポーツG
	21 中央公民館の平成31年までの改修費2億6千万円について詳細をホームページのせて下さい。	2億6千万円の内訳は、空調設備改修費80百万円、音響設備改修費28百万円、ホールつり天井撤去工事20百万円、屋上防水工事10百万円、4年間の管理運営費1億23百万円が見込まれます。	文化スポーツG
	22 中央公民館の取壊し、新病院の建設についてホームページで分かり易く示すべきである。	中央公民館の取壊しにつきましては、スケジュール等が決定次第、ホームページ等で周知してまいります。	文化スポーツG
	23 若い人達をもっと来る様にアプローチ出来ないのか？	市としても、園児や児童の保護者等若い世代の方に学校施設を地域コミュニティの拠点とすることに対しご理解をお願いしたいと考えており、今後、児童を通じてお知らせしたり、情報共有の場を提供する際の日程設定等に配慮するなどにより周知していくことを考えています。	行政G
	24 質問したかった。的外れの質問が多かったし考えが不足。40年で公共520億円インフラ220億円目途は立っているのか？今回の説明あったことを進めれば40年先も高浜は存続できるのか？刈谷、安城は金持ちで今でも施設、道路が充実。これが20年30年経つと高浜と大差がつき地価は下り、皆市外に移住しますますゴースタウン化しないか。それも考えているか？	ご質問のような状況にならないように、高浜市が今後も持続して自立した自治体でいられるようにするための取組みであることをご理解願います。	行政G
質問	25 ふれあいプラザのあり方、無駄な金を使いすぎ市内5カ所あるが大変ムダ金(例 青パト)定年後の遊び場と思う。予算年内いくらか、まち協の総会には一般市民は参加できない。仕組みが分からない。もっと町内会を活用する事が必要。予算を出す。	まちづくり協議会は、地域に根差した活動を行っている町内会が核となり、PTA・子ども会・いきいきクラブといった「世代別団体」、消防団や民生委員といった「分野別団体」が集まり、子どもから高齢者まで小学校区内の多様な意見を集約し、それぞれの持ち味を活かしながら、少しずつ力を持ち寄ることによって、地域の様々な課題に総合的・継続的に対応していくことをねらいとして組織されています。そして、地域の課題解決や魅力伸展に向けて、誰が、どんなふうに取り組んでいくか、予算の使い方などについての協議・検討が行われ、総会を経て事業計画・予算が決定されています。事業の推進にあたっては、理事会等の会合の場で、随時情報交換が行われていますが、人もお金も限りがある中で、お互いに横につながりあい、それぞれが持っている力を少しずつ持ち寄りながら取り組んでいくことが重要です。行政では、事業計画・予算、予算の執行状況等について、提案書や実績報告書等により確認をしておりますが、限られた財源を「真に必要な課題の解決にあてる」「地域の特性に合わせて効率的・効果的に活用する」といった意識を高めていただけるよう、各小学校区の自主性・主体性を尊重しながら、適切に助言・支援を行ってまいります。 また、「ふれあいプラザ」は、小学校区内の市民が連帯感を育み、自主的・主体的にまちづくり活動を行っていくための拠点として設置されており、子どもから高齢者まで幅広い年代が出入りするなど、各小学校区の特徴・工夫を活かした運営が展開されています。「公共施設あり方計画(案)」では、今後の高浜市が目指す公共施設の姿として、「学校」を地域コミュニティの核と位置づけ、子どもから高齢者まで、あらゆる世代の住民が集い、交流する「新たな地域活動拠点」とするために、学校の建て替えに合わせて、他の施設機能との複合化・集約化を検討することとなっています。「ふれあいプラザ」については、大規模改修・建て替え・保有形態の見直し時期の見直しなどを施設ごとに示しておりますが、先述の考え方に基づき、その時々々の社会環境等も踏まえながら、各小学校区の皆さまとともに「ふれあいプラザ」のふさわしいあり方を模索してまいりたいと考えております。 まちづくり協議会の総会は、各まち協が定める規約によって定義され、その構成は様々ですが、まち協に登録された会員や、地域の各種団体等から選任された代表者などによって構成されています。まち協の各年度の事業計画及び収支予算等が記載された総会資料は、市公式ホームページで公表しており、各ふれあいプラザでも総会資料・議事録は閲覧可能となっております。	総合政策G

26	もっと早く説明会などを聞き市民の理解を得るべきである。今回の説明会には意義があった。間接民主主義の原則を理解してもらう必要がある。	これまで市では、公共施設の現状と課題を整理した公共施設マネジメント白書を平成23年度に作成し、市民の方を含めた第三者機関を設置し、公共施設のあり方の提言をいただきました。この提言を踏まえ、平成26年度に公共施設あり方計画(案)を策定し、市内5つの小学校区で説明会を開催しております。また、パブリックコメントを実施し、市民の方からご意見をいただいております。この内容については、市公式ホームページに掲載していますので、ご覧ください。	行政G
27	選択できる検討案を示して欲しい。	今回の説明会では、今後の公共施設の方向性について市の考え方を示しました。この中で、個々の施設のあり方については検討期間を設けています。この期間で学校へ複合化するにあたっての課題等を整理し、利用者のご意見をいただく中で検討していきます。	行政G
28	吉浜地区の下水道はいつになるのか？	高浜市の下水道整備は水質改善が喫緊の課題となっている油ヶ淵流域(概ね、明治用水中井筋より南側の地域)を優先して進めています。 旧吉浜地区の整備は、平成27年度に事業認可区域の拡大をした区域に一部含めており、平成30年度・平成31年度から南から北へ整備を進める予定をしております。	上下水道G
29	郷土資料館の移転については考えられているのか？美術館に統合されるのか？	公共施設の機能移転が進む中で、候補地があれば検討してまいりますが、当面、郷土資料館の移転は考えておりません。	文化スポーツG
30	住民投票を望みます。	これまで、公共施設の現状を把握する中で、今後の市の財政状況を踏まえ、市と議会とで検討してまとめた計画ですので、市長自ら住民投票をする考えはありません。	行政G
31	更新費用が不足している事がスタートとなりどう削減したかが大きな流れになっている。 ①そうではなく公共施設として何が必要であるか？(削減できる施設は何か、もっと充実すべき施設は何か？)を明確にする。 ②明確になった「あるべき姿」からどのようにそれを限られた費用の中から計画を練る。その原点は市民への税負担を長期に渡りミニマムとする推進がなくてはならない。	今後の人口推計、社会情勢の変化等から、市の財政状況を考慮しますと、教育関連施設は今後も維持していく必要がある施設です。今後は長期的な視点にたつて財政計画をたてる中で進めていきます。	行政G
32	市長・市議は勝手すぎる。市民を無視している。	施設を利用する立場の市民、納税の立場の市民の方、それぞれに公共施設の取組みにご理解ご協力をお願いしたいため、情報共有を含め市民説明会を開催していますので、ご指摘のような考えはありません。	-
33	市として行政サービスの見直しとは他市でやっていないサービスと何か違うものはありますか？(税金以外で)	行政サービスにつきましては、例えば、国民健康保険の給付、介護保険サービスなど法律で義務付けられているものと、各種助成金等(子ども医療費助成、市障害者扶助料支給等)の交付、公共施設(公民館、美術館等)の管理など法律に基づかずに任意に行っているものがあります。 任意で行う行政サービスについては市町村によってその有無・内容は異なるとともに、法律で義務付けられているサービスであっても法律を上回る独自サービス(市居宅介護等支援給付等)を任意に行っている場合があります。 市では、将来を見据えた堅実な財政運営を行うため、公共施設の複合化とともに、任意で行っている行政サービスの見直しを両輪として進めることとしています。 現在見直し検討中のサービスの一例を申し上げます。 ・市民予算枠事業交付金、市障害者扶助料、かわら美術館指定管理料 など	財務G
34	今回の公共施設のあり方説明会について市民、市議、行政と十分に検討された説明会ですか。(土地、人数)	昨年度実施しました地区説明会を含め、説明会にあたっては市民の皆さまにご理解いただけるような内容を検討してきました。今回、多数の市民の方のご参加をいただきお礼を申し上げます。	行政G
35	各学区の施設建設の建設時には再度現地説明会を実施されるそうですが、具体的な組織・運営開始はいつ頃ですか？	今回説明会の資料として推進プラン見直し案を配布しましたが、その中に各小学校区ごとの複合化にあたってのスケジュールに検討期間をお示ししており、この期間で学校関係者、PTA、施設利用者の方と検討を進めていきます。	行政G
36	説明内容が定性的すぎます。定量的なデータ、資料をもって説明願いたい。	説明時間等を考慮して今回の説明会では定量的な資料を配布しませんでした。定量的なデータ、資料については、市公式ホームページに定量的なデータを盛り込んだ「公共施設マネジメント白書」や「公共施設あり方計画(案)」を掲載していますので、ご覧願います。	行政G
37	少子高齢化社会の課題を含めた公共施設のあり方検討会について保育園・幼稚園・小学校・中学校の数が高浜市と同規模の自治体と比較して少ない又は多いのか聞きたい。	各自治体の状況により設置数は異なりますが、同程度の規模の自治体の施設の設置数は把握していません。	行政G

38	子ども、孫世代に負担を先送りさせない為にもサービスの低下もやむ負えないが、議員数の低減とか市職員の低減は説明ないのか？	<p>(議員数の低減について)</p> <p>・現在、高浜市議会議員の定数(16人)は、人口5万人未満の市(262市)の平均(17.9人)を下回っており、早急に定数を削減することは考えていません。</p> <p>(市職員数の低減について)</p> <p>・本市では、平成8年度より「高浜市定員適正化計画」を策定し、定員の適正化に努めてまいりました。外部委託制度の活用など、積極的な事務の統廃合・縮小及び行政運営の見直しを進めることにより、平成8年4月1日の383人から平成27年4月1日の260人(平成15年の消防広域化34人と平成21年の市立病院民間移譲の51人を除く)となり、19年間で123人(削減率32%)の削減をしました。</p> <p>なお、職員の給与につきましては、官民の給与格差を比較した「人事院勧告」を尊重し、民間の給与水準にあわせたものとなっております。</p> <p>職員数や職員の給与については、年に1回、12月15日号広報でお知らせしております。</p>	議会事務局 人事G
39	中央公民館が今年4月より機能移転が検討されて、今回の結論が出されている。その要因(発端)はなにか。高小の建替えとの関係か。(中央は中央であり、地域公民館ではない)中央公民館利用者を対象とした協議会の構成委員会は具体的にいつどの様な方でどの様な議論がなされたのか？高小の建替え整備事業の検討がされるより後で中央公民館の機能移転が検討され始めたと思うが、高小の整備事業が完成するより4年も早く中央公民館を取り壊す必要があるのか？同じ結果となる場合でも高小の整備後に中央公民館の取壊しと病院移転がなされた方が理解しやすいと思うが、前後する理由はなにか？	中央公民館の機能移転については、平成26年度に策定した「公共施設あり方計画(案)」でお示しており、この計画では、平成38年度に基金が枯渇するという状況をお示しております。今回の説明では、予算編成が今後進むことができるようプランの前倒しをするとして、平成28年度に機能移転するという考えを説明させていただきました。また、現在の中央公民館を高浜小学校の建設時にあわせますと、設備等の修繕費用が必要となります。この費用を削減するためにも前倒したものです。	行政G
40	図書館を児童に特化するとあったが、成長した児童や一般利用者に対するサービスを考えられているのか？	本市は、碧南市、刈谷市、安城市、知立市の5市を管轄する衣浦東部広域行政圏にあり、図書館の相互利用がなされており、また、刈谷市を「中心市」とする衣浦定住自立圏を形成しており、東浦町とも相互利用できる環境にあることから、総花的ではない高浜市らしい図書館を検討していますが、具体的には、決まっています。	文化スポーツG
41	小学校へ複合化されるのは構わないが、どこまで一体化するのかなど。誰でも出入りできるというのは小学生や児童が授業をしている時なども人が普通に入ってくる?建物が違えば(土地が同じでも)大丈夫だと思っていますがその辺り安全対策をしっかりと欲しいです。誰でもいつでも出入りできるのは子どもの安全面からすると不安です。	小学校への複合化については、児童の安全を第一に考えていますので、セキュリティ対策を重視して、民間事業者の募集を行っていきます。	行政G
42	専門的なアドバイスを含め刈谷総合病院側と市民の使い勝手の良いように申し入れるべきでないですか？	移転新築後、高浜分院には自立した経営を求めています。市としても市民のためになる病床や診療を要望していきます。	保健福祉G
43	公民館の跡地に病院が出来ることは許しがたい。住民投票をして住民の意見を聞くべきだ。	高浜市に病院は必要であると考えており、市長発議による住民投票は考えていません。	保健福祉G
44	高浜分院は「でっかい町医者」のようです。「小さい町医者」が分散している方が便利です。	市内には診療所が必要であると同時にベッドを持つ病院が必要であると考えています。	保健福祉G
45	病院移転に関して住民アンケートをとって頂きたいです。⇒市民参画の話し合いで決まらなければ住民投票にて決める必要があると思います。	市民説明会や町内会へお伺いし、市民の方にご理解いただけるよう努めています。なお、市長発議による住民投票は考えていません。	保健福祉G
46	病院も碧南市民、豊田総合、更生病院を利用しても良いのでは？市内に必要なのか？	今後、医療病床は高度急性期、急性期、回復期、慢性期の4病床に区分されます。移転新築後の高浜分院は、刈谷豊田総合病院や安城更生病院、碧南市民病院の急性期後の回復期リハビリや慢性期を担うこととなります。	保健福祉G
47	各世代からの意見、要望を集める事が出来るのか？疑問を感じる。病院etc医療に不安。精神科がない。市内で子供を産めない。重篤な状態では診れない等。	将来的に医療は、高度医療や救急医療、リハビリテーションや症状の安定期などの医療の機能分担と年齢や性別、症状などの専門化がより進んでいきます。また、こうした医療環境が医療圏の中で構築されることが求められてきます。	保健福祉G
48	中央公民館について、現状維持を訴える人もいらっしゃいましたが、今後の維持費の老朽化に対応しようとすると莫大な数字にもなるかと思えます。また壁面の劣化等の問題もあり、大地震が起こった際にも市民の安全性に強い危機感を抱きます。高浜の未来に向けて子や孫たちに負担を今以上にかけることの無い様、長い目で見据え、明るい町、自立した町の建設に御尽力ください。今回の高小の建替えのチャンスを大切に生かしていただければ幸いです。	貴重なご意見をありがとうございます。公共施設のあり方の取組みについては、今後の高浜市が持続して自立した自治体でいられるよう、次の世代へ繋いでいくための取組みです。これまで経験したことのない取組みであり、市民の皆さまのご理解ご協力が必要不可欠です。高浜小学校の複合化事業を市民の皆さまに見ていただくことで、市が考えている公共施設のあり方をご理解いただけるよう取り組んでまいります。	行政G
49	白髪の老人の意見ばかりで若い人達の意見を聞きたかった。この人たちは、美術館より市制50周年式典が出来る。公民館が大事だと。シンボルの公民館を残せ。せつかくある美術館は無くても良いらしい。センスを疑います。	多くの方に参加していただけるよう時間設定を考えましたが、結果として若い方の参加は少ない状況でした。個々の施設のことになりますと、いろいろな意見をお持ちの方が見えます。市としては、今後の人口動向、社会経済情勢から、市の財政状況を踏まえ、長期的な視点にたって取り組んでいる計画であることを理解していただくよう説明してまいります。	行政G

自由 意見	50	ハコモノの維持には経費や更新に負担を伴うものなので、今後の利用状況を想定し、利用者の利便性を考慮して機能の集約化、複合化を進めて欲しい。	貴重なご意見をありがとうございます。いただきましたご意見を今後の参考とさせていただきます。	行政G
	51	大村知事が居る内に碧海5市合併活を出したらどうか？存続の勝算はあるのか？他市と肩を並べ共存共栄出来ていること。	碧海5市の合併に向けた動きは、平成13年度～14年度にかけて本格化し、議論されてきましたが、5市の歩調が合わず断念ということになり、その後現在まで進展には至っておりません。合併にあたっては、市民の皆様の想い、それを踏まえた5市の意思統一が最も大切となってまいります。今後とも市民の皆様の声に耳を傾けながら、市民の皆様の生活の利便性、質の高い行政サービスの提供、より充実したまちづくりの推進に努めてまいります。	総合政策G
	52	行政の決定事項の報告会のように市民の不信感が募っていると思った。	今後も継続して自立した自治体でいられるよう、長期的な視点に立って検討してきた考え方を市民の皆さまにご説明させていただいたものです。	行政G
	53	市民が納得のいく方法で進めて行った方が良かった(住民投票等による)	吉浜小学校区のアンケート結果からは、複合化・集約化に対して参加者の6割ほどと半数以上の方にご理解をいただいています。それぞれの立場からいろいろなご意見をお持ちの方が見えますが、概ねご理解いただいたと認識しています。	行政G
	54	公共施設と病院関係は分けて行った方が良かったと思った。	病院につきましては、地域医療を継続していく中で関連があると判断して説明させていただきましたが、ご指摘のとおり、分けて説明した方が市民の皆さまには分かりやすかったのではと感じています。	行政G
	55	現在の計画を実施した場合と、しなかった場合のかかるお金の違いを資料に入れて欲しい。集約される機能を明確にしてください。	ご質問の内容については、公共施設あり方計画(案)でまとめているので、市公式ホームページをご覧ください。	行政G
	56	もっと丁寧に説明すべきだ。	市民の方にご理解いただけるよう努めてまいります。	行政G
	57	施設の複合化は必要と思うが複合後集約後の各施設について住民が活用しやすい方策を十分とっていただきたい。(遠距離対応への足対策、活用方法をなるべく簡素化して欲しい。)	複合化・集約化後の運営については、関係団体等と意見交換を行う中で、活用方法を検討してまいります。	行政G
	58	公共施設のあり方は分かりますが、市民の意見をもっと聞く様にお願いいたします。	今後、各小学校区において、公共施設のあり方の検討を進めていくための情報共有の場、意見交換の場を設けさせていただき、ご意見をいただく予定です。	行政G
	59	行政の方へ:ここが正念の場 しっかり検討して欲しい。	-	-
	60	途中経過も含め丁寧に説明して欲しい。	公共施設のあり方の取組みについては、今後進捗状況等を必要に応じて情報提供してまいります。	行政G
	61	高浜市としての考え方を明確にしてください。	市としましては、学校を地域コミュニティの拠点として、学校施設に他の公共施設の機能を複合化・集約化していく考えです。	行政G
	62	説明会を開催して欲しい(議論途中で終わったので)	ご意見として承ります。	行政G
	63	郷土資料をどう扱うか、どう残していくのか考えられていくのか。高浜の文化を未来に繋ぐという視点で目先のことだけ捉われず生涯学習や文化継承を考慮に入れて計画を考えていただけたらと思います。	ご意見として承ります。	文化スポーツG
64	公民館機能複合化には賛成です。会議室が空いている時は子ども達の学習スペースや居場所として利用できるように考えて欲しいと思います。	公共施設のあり方の取組みは、スペースを有効活用することを考えていますので、ご質問にありますように多目的に活用していただけるよう検討してまいります。	行政G	
65	ハコの使い方の案を例を示し公募してみてもいいでしょうか？	貴重なご意見ありがとうございます。ひとつの考え方として参考とさせていただきます。	行政G	
66	あるものを賢く使う。その点を行政に活かしていくのが行政マンの仕事。公共施設を全て残せという事ではなく、その地域でどの様に使われているのか、それを知りその上で考えるべきではないのか？行政の仕事はコスト先にありきばかりでしょうか？	施設の利用状況等については、平成23年度に「公共施設マネジメント白書」を作成しており、この中で、施設の現状と課題を整理しています。これを踏まえ、「公共施設あり方計画(案)」を策定しています。決してコストありきでは考えていないことをご理解願います。	行政G	

67	市議会でも承認のことと言われたが市民は何も知らない。市会議員も市民の一票で代表となっているのできちんと報告すべきである。	高浜市議会では、毎定例会終了後に市議会だより「びいぷる」を発行し、審議経過の概要と結果を報告しています。また3月定例会及び9月定例会終了後に議会報告会を開催し、議員自ら審議内容を報告しています。議会報告会の日程については、ポスター掲示(市内公共施設)、「びいぷる」、市公式ホームページ、市公式フェイスブック等でお知らせしています。 なお、市公式ホームページにおいて、本会議の映像配信(ライブ・録画)及び会議録の公開を行っていますので、ぜひご覧ください。	議会事務局
68	今まで市内の公共施設については建物が建って古くなったと思っていたが、施設更新について感心をもっていたが先々の予算をみながら、どの様に改善していくのか？見通しが(計画)が良くわかりました。個々の問題点があると思いますが、概ねに賛成ですが施設の集約後の利用がどの様になるのか？感心事です。	貴重なご意見ありがとうございます。複合化・集約化後の運営につきましては、学校関係者、利用者団体等と意見交換をして検討してまいります。	行政G
69	一定期間毎に説明会を開いて説明して欲しい。	今後、各小学校区において、公共施設のあり方の検討を進めていくための情報共有の場、意見交換の場を設けさせていただき、ご意見をいただく予定です。	行政G
70	住民の声を良く聞いて決定すべきだと思います。	今後、各小学校区において、公共施設のあり方の検討を進めていくための情報共有の場、意見交換の場を設けさせていただき、ご意見をいただく予定です。	行政G
71	市政が回っていない。あっても無くても良い。	公共施設のあり方の取組みは、高浜市の次世代に向けた公共施設マネジメントを確立・発信するもので、将来も高浜市が自立して継続した自治体でいられるように考えた取組みであることをご理解願います。	行政G
72	市民感情を無視している	市民アンケート結果からは、複合化・集約化に対して7割近くの方にご理解をいただけた結果となっています。個別の施設の話になってきますと、利用者としてのお立場の方もみえ、いろいろな考えをお持ちであることは認識しておりますので、ご理解いただけるようにしてまいります。	行政G
73	公共施設の複合化、集約で現状より費用がどの様になるかを数値比、明確にするべきである。	昨年度策定しました「公共施設あり方計画(案)」でご質問の内容についてはお示していますので、ご参照願います。	行政G
74	将来のことを考えて利用率等の悪い施設は廃止すべきと思う。	貴重なご意見をありがとうございます。今回の公共施設のあり方は、利用率については、集約化の可能性についてその状況を把握しており、今後の人口動向や社会情勢の変化から市の財政状況を踏まえ、検討してまいりました取組みです。	行政G
75	公共施設の利用料を上げて管理費に補充すべき。	ご意見のとおり、受益者(利用者)負担の見直しを行い、受益偏在の改善を図る必要があるものと考えています。 このため、公共施設の複合化とともに、公共施設の使用料につきましても現在積算基準の見直しの検討を進めており、現時点では、平成29年4月からの料金改定を予定しています。	財務G
76	説明会で市民に都合の悪い説明が無いので内容がわからない。	説明会では、公共施設の現状と課題を説明いたしました。公共施設の現状と課題については、「公共施設あり方計画(案)」をご参照願います。	行政G
77	公共施設問題の複合化、集約化で国立競技の建替えと同等にならないようにしてください。	ご指摘のようにならないよう、今後公共施設にかかる費用等目標値を掲げて取組みを進めてまいります。	行政G
78	市内で説明会をするならもっと各町の小単位するべきだ。	貴重なご意見ありがとうございます。今後の説明会のあり方についての参考とさせていただきます。	行政G
79	回答がその場限りであり、長期的な視点が本当にあるのか疑問。	公共施設のあり方の取組みは、長期的な視点に立って方向性の考え方をまとめたものであり、個々の施設については、今後関係者等と意見交換を進めてまいります。決してその場限りではないことをご理解願います。	行政G
80	施設建設前に、まちづくり構想(ランドデザイン)が必要。高浜の町づくりの方向や、湯山町の中心街の構成をどの様にシンボル化していくのか。企画デザインを図って欲しい。	公共施設のあり方は、ハコモノについては学校施設を核として地域コミュニティの拠点とする方針を出しており、この考え方にに基づき、基盤整備を含めたまちづくりを進めてまいります。	行政G
81	情報公開が他の自治体に比較して遅れていると思います。自治基本条例によるまちづくりを進めるためにも、より積極的な情報公開(ホームページ)をお願いします。	公共施設のあり方の取組みについては、これまでに市の公式ホームページや市広報等で情報提供させていただいておりますので、ご参照願います。	行政G
82	市役所の職員が多数参加しています。職員の意見はこのアンケート結果として載せるべきではない。何度も説明会に参加している職員が居ますが、市民の声を聞く為という事であれば席を別に設けるべきです。計画を早く進めすぎ。	職員も一市民として参加しています。席については、説明会の参加状況により、着席せずに参加するように協力いただいております。	行政G

83	行政運営に当たっては、常に費用対効果を図ることとなっている。公共施設の設置・運営も同様であると思われる。従って、公共施設の設置運営は先ず現行法令を順守すべきであり、この範囲内で検討されるべきだ。法令に設置が規定されていない施設で、必要性の薄いと思われる施設については、用途廃止をすべきである。(かわら美術館、市立病院)	公共施設のあり方の取組みは、今後の人口推移、社会保障費の増大、施設の劣化度等を踏まえ、今後厳しい財政状況となることを見込まれる中、ご指摘の費用対効果を含めて、今後の公共施設の方向性についてその考え方をまとめたものです。また、法令順守については、取組みの中で必要となる関係法規に順守して手続き等を進めてまいります。	行政G
84	高浜市と同規模の自治体と比較して公共施設の数、機能が充実している又はしなくていいのか。	同規模の他の自治体との比較については、その自治体の財政状況、人口推移、市民ニーズ等により考え方も変わってまいりますので、一概に施設数等から充実しているかどうかの判断はできないと考えます。	行政G
85	ホームページでは5つの柱として近隣自治体との連携促進をあげているが、今回の説明では積極的でない印象です。かつてあった碧海市構想はどうなったのか？図書館は実際に刈谷と碧南を利用しています。	碧海市構想については、関係自治体との協議から合併しないこととなり、現時点で再度碧海市構想が考えられていることはありません。近隣自治体との連携促進については、現在、相互利用がされていることを促進していくことを挙げています。	行政G
86	公共施設は長寿命化していく工夫が必要。美術館の民間へ売却。公民館の民間へ売却。	貴重なご意見をありがとうございます。施設の跡地活用の参考とさせていただきます。	行政G
87	各世代が平等に痛み分け出来るように進めて欲しい。若い世代が来る事の出来る説明会が時間設定であった。	公共施設のあり方の取組みは次世代へ繋ぐための取組みです。説明会では、60代・70代の方が多く参加していただきましたが、今後、若い世代への周知方法について検討しており、どうしたら若い世代の方に興味を持っていただけるかなど、ご提案等をいただければ幸いです。	行政G